

金城大学同窓会

《会報誌 第5号》 2011年11月発行号



《同窓生ピックアップ》

各方面で活躍する金城大学同窓生

《同窓会 活動報告》

平成23年度役員会 開催報告 [6/19]

《「卒業生による近況報告会」開催報告》

《同期会開催報告》

《大学行事》

平成22年度卒業式 [3/18]、平成23年度入学式 [4/1]、
新入生歓迎会 [4/9]、新入生合宿研修 [4/15~17]、
第36回金城祭 [10/23~24]

《トピックス》

金城大学・金城大学短期大学部 公開講座、
ゆうがく広場/悠遊健康サークル など

《研究・教育活動報告》

研究活動成果報告会開催報告、
科学研究費助成事業採択状況、
「戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)」採択、
「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム状況報告

《行事案内》

第6回福祉創造フォーラム [11/20]、金城大学の建学理念等



各方面で活躍する金城大学同窓生

仕事と卓球の両立で
会社に貢献

平成18年度に金城大学を卒業後、実業団卓球チームに所属し、仕事と卓球の両方に励む毎日を送っています。私が勤める株式会社エクセディは、自動車の駆動系装置を、開発から生産、販売まで一貫して行う総合メーカーです。大阪府寝屋川市に本社を持ち、世界18カ国34社のグループを展開しています。私は三重県の上野事業所U人事総務室に所属し、従業員の入社手続きや扶養の手続きを主に担当しています。

金城大学で過ごした4年間を振り返ると、部活では卓球の技術はもちろん、礼儀や人間性の向上について多くのことを学ぶことができました。チームメイトと共有した時間や、一つの目標に向かってみんなで取り組んだこと、充実した練習の思い出は、今でも大切な宝物です。また、福祉の

授業では、相手側のニーズを察知し、応えることの重要性を学ぶことができました。その教訓を活かし、お客様や社員への対応一つにしても、感謝や相手を敬う気持ちを持つて接する

ように心掛けています。現場で働く従業員が、仕事に集中できるようにサポートするのが私の務めだと思っています。

また、卓球部に所属して5年目を迎えた現在、最年長部長としてチームを引っ張る立場にあります。エクセディ卓球部は日本卓球リーグの2部に加盟し、実業団のトップクラスが参加する1部リーグへの昇格を目指して日々の練習に取り組んでいます。仕事と卓球の両立は大変だと思う時もありますが、会社の支援や、職場の方々の『頑張ってきたね』の一言に励まされ、楽しく続けることができている。今後も、同じように実業団でプレーする後輩達の良い見本、道しるべとなるため、仕事と卓球を精一杯頑張りたいと思います。



宮里 美菜子さん【株式会社エクセディ 勤務】
社会福祉学部 平成18年度卒業 4期生

大学での出会いや
経験が財産

現在も続く、私の長いバレーボール人生は小学校3年生からスタートしました。副キャプテンとして厳しい練習に耐えていた中学時代、「もっと上手になりたい」と思い、全国大会に多く出場していた名門の近江高校に進学しました。生まれ育った姫路を離れ、寮生活が始まりましたが、仲間や顧問の先生にも恵まれ、私のバレーボールはただ楽しかったバレーボールから本気で勝負バレーボールへと変わっていききました。もちろん肉体的にも精神的にも本当に辛いことが多かったものの、「やると決めた以上最後までやり切る」と強く思っていたため、辞めたいと思つたことは一度もありませんでした。今では、「この性格だったからこそ最後までやり切ることができた」と感じています。そして、同級生や後輩にもたくさん助けられ、私はキャプテンという大役もやり切ることができ



位田 愛さん【KUROBEアクアフェアリーズ 所属】
社会福祉学部 平成20年度卒業 6期生

きました。

その後、昔からずっと保育士になりたいという夢もあったので、金城大学短期大学部幼児教育学科へと進学しました。バレーボール部に所属して2年間の短大生活を送る中で、まだまだ競技を続けたい気持ちが強くなり、金城大学社会福祉学部への編入学を選択し、更に2年間の大学生生活を送りました。大学のバレーボール部でもキャプテンを務め、メニューなどは自分たちで決めて練習を進めました。心で繋ぐバレーボールを目指し、これまで以上にチームメイト一人一人に目を向ける中で、仲間の大切さや絆をあらためて学び、苦しいことを一緒に乗り越えた一生の仲間と出会うことができました。

大学を卒業後、今は富山県の実業団チームKUROBEアクアフェアリーズ(黒部市)でバレーボールを仕事として続けています。プロの世界では結果を出すことが全てで、結果を出さなければ認めてもらえない世界です。もちろん今まで感じたことのないプレッシャーに押しつぶされそうにもなる時もあります。そんな私を助けてくれるのはやはり大学時代の仲間たちです。心の底から頼れるかけがえのない仲間たちに出会えた大学でのバレーボール生活は、私の財産となっています。また、これまでにバレーボールを通じて出会った方にも本当に感謝をしています。これからも家族や仲間の支えを大切にしたいと思っています。



同窓会 活動報告

平成23年度役員会 開催報告

6月19日(日)13時から、本学にて平成23年度第1回役員会が開催されました。会長の濱田陽介さん(1期生)、副会長の中野雄介さん(1期生)、会計監事の園谷準さん(1期生)、上田良和さん(1期生)をはじめ、各期委員の内島一憲さん(1期生)、伊藤恵里さん(2期生)、寺井紀裕さん(2期生)、田中宏治さん(3期生)、高橋志未さん(4期生)、松下早希さん(5期生)、松浦由依さん(8期生)、澤田竜之介さん(8期生)の合計12名、学校関係者としては、加藤晃金城学園理事長、加藤真一金城学園副理事長、本田金城大



学学長、川上正文事務局長、同窓会幹事(岡村綾子准教授、野口雅弘講師、島原徹総務部長、坂口憲二総務部主任、宮本麻衣子総務部職員)5名の合計9名、同窓会役員及び学校関係者21名にて開催されました。

はじめに濱田会長、加藤理事長、本田学長からのご挨拶があり、その後の議題としては、1.平成23年度役員補充、2.平成22年度事業報告・決算、3.平成23年度事業計画・予算について審議がなされ、いずれも全会一致で承認されました。懸案事項となっていました、4.総会の開催については、今年度の金城祭開催日に合わせ、10月22日(土)に第1回総会及び懇親会を開催予定とするなどの確認がなされ、当日の事業内容やスケジュールなどについては、役員・委員の皆さんからも非常に多くの意見が出され、今後、役員と学校関係者にて「多くの同窓生が参加したくなる事業」となるよう継続審議していくこととし、会長一任で承認されました。また、活発な同期会開催を促進できるように、5.「同期会開催助成規程」について提案がなされ、全員一致で承認されました。6.名簿の管理については、総会開催案内や、今後、会報誌送付時などに返信ハガキを同封し、氏名・現住所・現職・近況報告等の情報を適切に管理していくこと、7.卒業生の大学施設利用については、引き続き会報誌やホームページなどを活用して、積極的かつ有効な支援体制を整備していくことの確認がなされました。

その他、同窓生主体の研究会や勉強会の開催について、会報誌やホームページを通じて案内できるような体制整備をしていくことの提案がなされ、引き続きさまざまな角度から同窓生の活動を積極的に支援していくこと、ホームページ管理についても整備をしていくことの確認がなされました。それ以外にも卒業生だからこそ感じている意見や提案等も出され、たいへん充実した意見交換の場になりました。お忙しい中のご参加・本当にありがとうございました。

最後に、今後とも円滑かつ活発な同窓会運営を図れるよう役員及び委員の方々へ全ての卒業生の皆様のご理解並びにご協力をよろしくお願いいたします。

予算・決算 (平成22年度決算・平成23年度予算)

(単位:円)		
収入の部	平成22年度決算	平成23年度予算
会費	5,780,000	5,160,000
利息	4,294	10,000
雑費	0	0
前年度繰越金	24,363,978	2,776,220
合計	30,148,272	7,946,220

特別会計		
(単位:円)		
収入の部	平成22年度決算	平成23年度予算
特別会計繰入金	20,000,000	2,000,000
前年度繰越金	—	20,000,000
合計	20,000,000	22,000,000
(単位:円)		
支出の部	平成22年度決算	平成23年度予算
次年度繰越金	20,000,000	22,000,000
合計	20,000,000	22,000,000

(単位:円)		
支出の部	平成22年度決算	平成23年度予算
会議費	32,950	700,000
金城祭経費	132,100	300,000
会報誌経費	414,400	500,000
ホームページ制作費	105,000	150,000
郵送費	210,600	300,000
雑費	62,002	100,000
会費戻金	40,000	200,000
開学10周年記念事業負担金	6,000,000	—
同期会開催助成金	—	500,000
事務費負担金	375,000	500,000
特別会計繰入金	20,000,000	2,000,000
予備費	0	2,696,220
次年度繰越金	2,776,220	—
合計	30,148,272	7,946,220

平成23年度役員・委員

会長 濱田陽介 (1期生)
 副会長 中野雄介 (1期生)、河合直人 (8期生)
 会計監査 園谷準 (1期生)、上田良和 (1期生)

委員 内島一憲 (1期生)、熊野裕子 (1期生)、紺昇平 (1期生)、伊藤恵里 (2期生)、久田緑 (2期生)、寺井紀裕 (2期生)、藤田正憲 (2期生)、北平玲子 (3期生)、田中宏治 (3期生)、徳田澄麗 (3期生)、山下和恵 (3期生)、安土貴子 (4期生)、川部史香 (4期生)、小塩麻里奈 (4期生)、清水敦子 (4期生)、庄田紋子 (4期生)、高橋志未 (4期生)、林裕也 (4期生)、森美夏 (4期生)、赤木由未子 (4期生)、池上実希 (5期生)、越村知恵 (5期生)、松下早希 (5期生)、山本晴花 (5期生)、岩城涼子 (5期生)、江川珠右 (5期生)、辰田沙弥香 (5期生)、中村文香 (6期生)、花井友美 (6期生)、早崎久穂 (6期生)、草別麻美 (6期生)、大久保朋美 (6期生)、西村仁美 (6期生)、宮原千夏子 (6期生)、高橋孝明 (6期生)、中野友博 (7期生)、土田行美 (7期生)、津田聡美 (7期生)、東元いつか (7期生)、西川美香 (7期生)、荒木友季 (7期生)、高橋彩子 (7期生)、成川千絵 (7期生)、竹田圭佑 (8期生)、鷺田恵 (8期生)、松浦由依 (8期生)、澤田竜之介 (8期生)、西谷彰紘 (8期生)

幹事 杉山正樹、岡村綾子、野口雅弘、島原徹、坂口憲二、宮本麻衣子

同窓生活動報告の募集

同窓生の皆様におかれましては、各方面でご活躍のことと思います。その中で、「同期会を開催しました」「同じサークルだった仲間と久々に集まりました」など、同窓生の近況報告を募集しています。是非、同窓会会報誌でも活動の様態を掲載させていただきたいと思っておりますので、お気軽に情報をお寄せください。

「卒業生による近況報告会」開催報告



卒業生5人が 仕事のやりがいなど発表

金城大学同窓会も平成15年度の発足から8年が経過し、また、平成19年度に開設した医療健康学部理学療法学科、社会福祉学部こども専攻からも無事に卒業生が輩出されたこともあり、今年度、初めての試みとして、10月22日(土)に本学にて『卒業生による近況報告会』(金城祭プログラム)を開催しました。

開会にあたり、濱田陽介同窓会会長からの挨拶があり、その後、社会福祉学部卒業生から園谷準さん(平成15年度卒)、瀧田万由子さん(平成17年度卒)、壽時悠さん(平成21年度卒)の3名、医療健康学部卒業生から菊池礼乃さん(平成22年度卒)、竹田圭佑さん(平成22年度卒)の2名、合計5名の卒業生から現在の職場報告等が行われました。集まった教職員や在学生、同窓生や金城祭一般来場者が聴講する中、1人15分程度で法人の概要及び職種説明、仕事のやりがいや今後の目標・ビジョンなどについての発表、報告がありました。最後に、杉山正樹同窓会幹事より、講評及び閉会の挨拶がありました。

なお、同日に開催を予定していた『同窓会事業報告及び懇親会』につきましては、今回、参加希望者が少なかつたため、残念ながら開催を見送りました。参加希望にてご返信いただいた卒業生の皆さんには、本当に申し訳ありませんでした。

金城大学同窓会としては、引き続き、魅力ある活動、事業の企画等を行ってまいりますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いたします。

なお、今回の案内郵送時に、同窓会名簿整備のための再調査も併せて行っていますので、まだ返信ハガキを提出されていない場合は、早期のご返信にご協力ください。

卒業生の施設利用

卒業生の皆さんも図書館所蔵資料の閲覧・複写・貸出ができます。(貸出期間の延長はできません。)

《貸出冊数》3冊

《貸出期間》2週間(雑誌は除く)

※必ず事前に図書館までご連絡(076-276-4412)ください。その際、卒業年度・学籍番号・学科・名前をお知らせください。

※利用の際は現住所等を確認できるもの(免許証など)を持参し、カウンターに申し出てください。

※利用日・時間は在学生と同様です。また、卒業生が勉強会(自主ゼミ・研究会)を実施できる環境(場所)整備として、平日夜・土曜日などに小講義室・演習室等を使用することができます。なお、実際の使用に係る手続き等の詳細については、同窓会ホームページをご覧ください。



退任教職員のご案内

社会福祉学部の大井佳子教授、釜土禮子准教授、上田由紀子准教授、医療健康学部の武田功教授、曾我浩之教授、齋藤幸江准教授及び事務職員の近藤悠法人本部事務室長、小谷内政雄さん(管財部)、道下菜穂子さん(就職進学支援室)が3月末で退任されました。

同期会 開催報告

第1期生(社会福祉学部)同期会



平成23年8月13日(土)、金沢都ホテル7階鳳凰の間にて、第1期生同期会を盛大に開催しました。仕事や育児にと大変忙しい中、47名の参加がありました。景品をかけた大縄跳びでは、30代となった体には堪えましたが大いに盛り上がりました。

今回、同窓会役員として、同窓会への協力要請を行い、また、同期会開催の助成規程を制定することが出来、今後の年代においても同期会が開催しやすい環境になったこと、この場を借りて心よりお礼申し上げます。

幹事…中野雄介



第8期生(医療健康学部第1期生)研修セミナー及び懇親会

医療健康学部理学療法学科第1期生同期会として、8月27日(土)に研修セミナー及び懇親会を開催しました。研修セミナーは、ルキーナ金沢(金沢市内)にて開催し、永井将太准教授による「脳卒中患者の理学療法を進め方」と題した講演を行い、41名の同窓生が集まりました。その後に行われた懇親会は、場所を金沢四分一に移し、同窓生27名、教員10名の

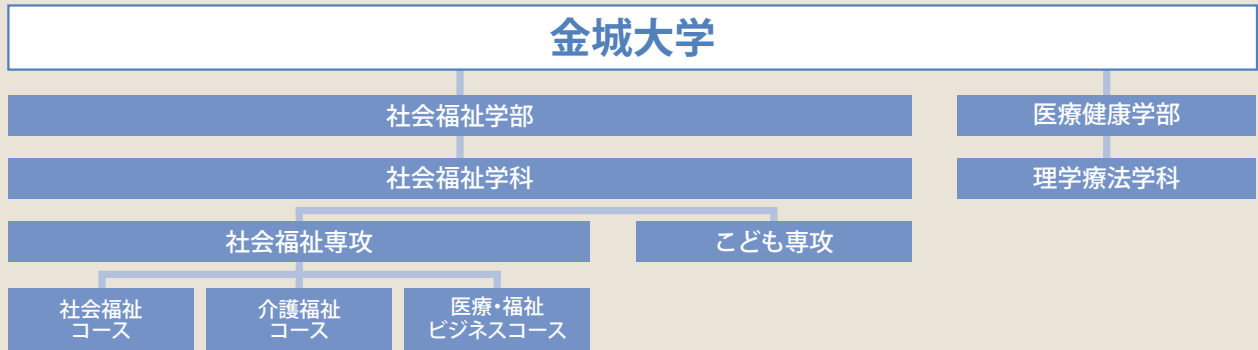


計37名にて開催しました。卒業後、約半年が経過し、永井准教授の講演や懇親会での同期の頑張りなどを聞き、いっそう自己啓発することが出来ました。このような同期会については、今後、定期的を開催していきたいと思えます。

幹事…河合 直人



平成23年度 金城大学 学部・学科構成 一覧



平成22年度卒業生の進路結果 (2011年4月15日現在)

社会福祉学部

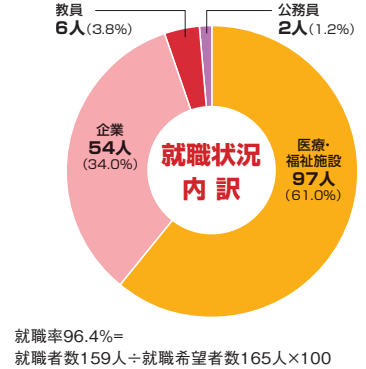
社会福祉専攻

※医療・福祉ビジネスコースは平成21年度設置のため、就職実績はありません。

職種	人数
介護職	79人
支援員・指導員	20人
相談援助職	2人
MSW	4人
営業職	18人
販売職	7人
事務職	12人
製造・生産職	3人
接客職	3人
調理師	1人
運転手	1人
公務員	2人
教員	6人
その他	1人
計	159人

業種	人数
【福祉施設など】	
高齢者施設	58人
障害者施設	28人
病院	7人
児童養護施設	2人
社会福祉協議会	1人
保育園	1人
計	97人
【公務員】	
警察官	1人
市役所	1人
計	2人
【企業】	
医療・福祉	12人
飲食・宿泊業	7人
運輸業	6人
卸売・小売業	11人
サービス業	6人
製造業	4人
農業	1人
複合サービス業	3人
不動産業	3人
その他	1人
計	54人
【教員】	
高等学校	1人
特別支援学校	5人
計	6人

就職率	96.4%
卒業生	175人
就職希望者	165人
就職者	159人
進学	3人



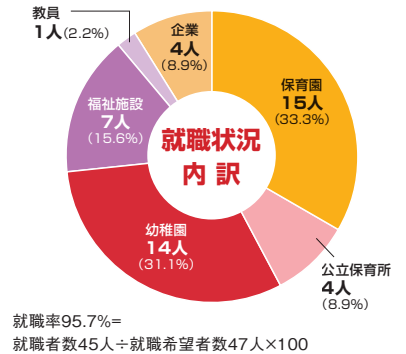
社会福祉学部

こども専攻

職種	人数
保育士	19人
幼稚園教諭	14人
教員	1人
支援員	7人
営業職	3人
販売職	1人
計	45人

業種	人数
【保育園・幼稚園・福祉施設】	
保育園	15人
幼稚園	14人
児童養護施設	1人
救護施設	1人
障害者施設	5人
計	36人
【公務員】	
公立保育所	4人
特別支援学校	1人
計	5人
【企業】	
販売・小売業	2人
教育	1人
製造業	1人
計	4人

就職率	95.7%
卒業生	48人
就職希望者	47人
就職者	45人
進学	0人



医療健康学部

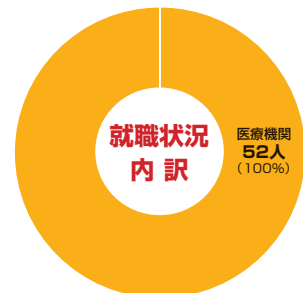
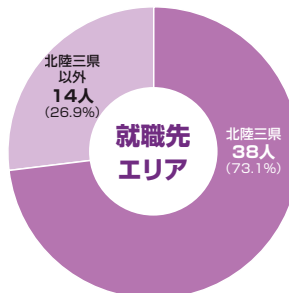
理学療法学科

職種	人数
理学療法士	52人
計	52人

業種	人数
【医療機関】	
病院	52人
計	52人

就職率	100%
卒業生	58人
就職希望者	52人
就職者	52人
進学	3人
(就職かつ進学者)	

就職率100% = 就職者数52人 ÷ 就職希望者数52人 × 100



大学行事

平成22年度 卒業式 3・18

3月18日(金)に、第8回卒業証書・学位授与式が白山市松任文化会館で行われました。社会福祉学部の卒業生223名、医療健康学部の卒業生58名、合計281名の卒業生が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。式では、加藤理事長が告辞を述べ、本田学長が「癒しの提供者として、医療・福祉の現場で大いに活躍してほしい」と式辞を述べました。続いて、作野白山市長をはじめ来賓の方より祝辞を賜り、また、多数の祝電が披露されました。最後に、卒業生を代表して、菊池礼乃さんが答辞を述べました。



同日、会場をANAクラウンプラザホテルに移し、卒業パーティーが行われました。

両会場では、東日本大震災による被災者支援のため、義援金募金箱を設置しました。

今年度の卒業式は、平成24年3月18日(日)に白山市松任文化会館にて行われる予定です。

平成23年度 入学式 4・1

4月1日(金)に、第12回入学式が白山市松任文化会館で行われ、社会福祉学部、医療健康学部の2学部246名が入学し、新生活への期待を胸に大学生活をスタートさせました。



式では、加藤理事長が告辞を述べ、本田学長が「思いやりを大切にして相手の立場になり、誇りと自信、情熱と勇気を持つて求められていることを実践してほしい」と式辞を述べました。続いて、作野白山市長など多数の祝電が披露されました。最後に、新入生を代表して、黒谷沙紀さん(医療健康学部)が宣誓しました。

なお、式に先立ち、東日本大震災で亡くなられた方々へ黙祷を捧げました。

新入生歓迎会 4・9

例年実施している新入生歓迎会が、今年度も4月9日(土)に行われました。学友会が中心となり、新入生が早く

大学生活に馴染めるように、ウォークラリーや、クラブ・同好会体験などが行われました。その後、クラブ・同好会紹介が行われ、それぞれオリジナルの演出でアピールしました。また、今年度も豪華景品が用意され、たいへん盛り上がりました。新入生にとっては歓迎会を通じて、金城大学の良さを体感できた1日となりました。



新入生合宿研修 4・15～17



例年実施している両学部合同の新入生合宿研修が、今年度もかんばんの郷白山尾口にて、4月15日(金)～16日(土)、16日(土)～17日(日)の2班集体で行われました。毎年、学生生活に必要なマナーを身につける、大学生としての自覚と計画を持つ、異なる学部専攻の学生や、教職員との交流を図ることを目的に実施されています。レクリエーション、マナー講座、スポーツ大会、懇親会などを通じて、今後の大学生活の第一歩を踏み出すことが出来たことと思います。

第36回金城祭 10・22～23

今年度は、「フラットした気持ちでシャープに」KIJNJOYFULカーニバルをテーマに、第36回金城祭が10月22日(土)・23日(日)に開催されました。「Sonar Pocket」によるゲストライブ、模擬店、ステージでの各種イベント等の企画が実施されました。今年もたくさんの方にご来場いただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。また、金城大学同窓会の事業として、22日(土)に金城祭プログラムの一環として、卒業生近況報告会を開催しました。(詳細は、「卒業生による近況報告会」開催報告)を参照)



平成22年度 金城学園 財務概要

消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金	2,504,867
補助金	800,228
その他	165,334
基本金組入額	- 203,319
消費収入の部(合計)	3,267,110
消費支出の部	
科目	金額
人件費	2,055,067
教育研究経費	742,505
管理経費	407,804
その他	43,495
消費収入超過額	18,239
消費支出の部(合計)	3,267,110

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部	
科目	金額
固定資産	9,366,009
有形固定資産	8,937,673
その他の固定資産	428,336
流動資産	2,755,482
資産の部(合計)	12,121,491
負債・基本金・消費収支差額の部	
科目	金額
固定負債	2,126,397
流動負債	689,403
基本金	11,107,119
消費収支差額	- 1,801,428
負債・基本金・消費収支差額の部(合計)	12,121,491

※ 詳しくは、金城学園ホームページ(<http://www.kinjo.ac.jp/>)をご覧ください。

トピックス

白山市との包括協定締結



金城学園、金城大学、金城大学短期大学部は白山市との間で相互に協力し地域社会の発展と人材育成を目指す包括協定を締結しました。

短期大学部学長が、それぞれ協定書に署名しました。

大学と白山市は、福祉、医療、保育・幼児教育の向上をはじめ、文化、芸術、経済、地域コミュニティの発展、ボランティア、まちづくりなどの分野でこれまで以上の連携協力を進めていくこととなります。

公開講座

今年度も5月14日から11月19日(各土曜日、全20講座)にかけ、短大部との共同事業として「金城大学・金城大学短期大学部公開講座」を実施しています。短大部の先生方による健康や生活に根付いた講義が行われ、地域の方々を中心に、今年も多く聴講者がありました。なお、平成24年度も同時期に実施していますので、大学・短大部ホームページをご参照の上、是非ご参加ください。



ゆうがく広場／悠遊健康サークル



今年度も介護福祉コースによる地域の高齢者の方々との交流を通じたレクリエーション活動事業として「ゆうがく広場」を、理学療法学科による白山市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシントレーニング、健康体操などを本学学生と交流しながら行う健康維持・改善講座事業として「悠遊健康サークル」を実施しています。地域の方々からたいへんご好評をいただいております。活動状況等の詳細については、大学ホームページをご参照ください。

株式会社ナナオからのテレビ寄贈について



現在、後援会会長であります実盛様(株式会社 ナナオ社長)からのご提案・ご好意により、同社の液晶テレビ10台を7月22日(金)に寄贈いただきました。寄贈いただきました液晶テレビにつきましては、本学の講義室や演習室等に設置させていただきます。教育・研究に寄与するものとして活用させていただきます。

北國健康生きがい支援事業

北國新聞社との共催にて、一般の方を対象にした通年事業として「社会福祉講演会」、「医療健康講演会」、「福祉創造フォーラム」を開催しています。今年度は7月23日(土)に医療健康学部木林勉教授による「介護予防〜いつまでもイキイキと自分らしく〜」、9月17日(土)に社会福祉学部平口真理教授による「人間関係のストレスにどう対処するか」をテーマに開催し、多くの聴講者がありました。



また、11月20日(日)には、「第6回福祉創造フォーラム」(詳細については、裏面をご参照ください。)の開催を予定しておりますので是非ご参加ください。

大学行政管理学会第15回定期総会・研究集会開催



9月3日(土)から4日(日)の2日間、金城大学が会場校となり、ホテル金沢及び本学キャンパスにて、大学行政管理学会(全国の大学横断的な「職員」相互の啓発と研鑽を深めるための専門学会組織)第15回定期総会・研究集会が開催されました。当日は台風12号の影響もあり、多くの参加者

の足にも影響がりましたが、2日間で全国から高等教育機関職員を中心とした教育関係者356名が来学し、盛大に開催されました。

白山市経済団体連絡協議会との協定締結

金城学園、金城大学、金城大学短期大学部は白山市経済団体連絡協議会、白山商工会議所、美川商工会、鶴来商工会、白山商工会との間で、相互に協力し地域経済の発展と学術文化の振興、人材の育成を目指す包括協定を締結しました。



締結式は9月14日(水)に本学にて行われ、高松白山市経済団体連絡協議会会長(白山市商工会議所会頭)、吉田美川商工会会長、角永鶴来商工会会長、林白山商工会会長、加藤金城学園理事長、本田金城大学学長、中山金城大学短期大学部学長が、それぞれ協定書に署名しました。大学と白山市経済団体は、地域経済の発展や地域振興、学術文化の振興をはじめ、地域文化・伝統の継承や人材の育成について、これまで以上の連携協力を進めていくこととなります。

「石川県健民運動青少年ボランティア賞」を受賞

ボランティア活動に自主的、積極的に取り組む他の模範となるような優れた活動に対して贈られる「石川県健民運動青少年ボランティア賞」に、個人の部で高川由佳さん(社会福祉学部)が専攻3年)が選ばれました。

高川さんは、1年生からwww.mwz.comというボランティアサークルに所属し、現在は代表を務め、子どもとのレクリエーションやスポーツ指導に積極的に携わってきました。地域の方々との綿密な打合せを行いながら、諸活動を通じて子ども達に人と人のつながりの大切さや社会のルールを教えています。こうした地域を巻き込んだ活動は、地域福祉の推進にもつながっています。また、東日本大震災後は、岩手県陸前高田市でボランティア活動をおこなっています。

なお、1月中旬頃に谷本正憲石川県知事より、表彰状が手渡される予定です。

研究・教育活動報告

研究活動成果報告会開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、今年度は金城祭にて、研究活動成果報告会(平成22年度交付者による報告)を行いました。平成23年度の発表者は左記の通りです。また、科研費採択者から木谷尚美准教授も発表を行いました。

① 佐々木 賢太郎 准教授

「膝前十字靭帯損傷者の片脚着地時における姿勢制御の分析」

② 小島 聖 講師

「安静立位における足底接地面積と足趾筋力の関係」

③ 山本 拓哉 助教

「トレッドミルベルト速度調節による代謝の変化について」

④ 野口 雅弘 講師

「高強度運動後の血管内皮機能の評価」

⑤ 下村 有子 教授

「視覚障害者の血流量と皮膚温度による温泉の癒し効果の調査研究」

⑥ 内 慶瑞 准教授

「学生ボランティア活動の実態と課題」大学ボランティアセンター開設に向けての基礎資料の収集」

⑦ 神谷 晃央 講師

「人工股関節置換術前後における骨盤アライメント・股関節と体幹可動域・股関節周囲筋力の変化」



⑧ 木林 勉 教授

「OSCE(Objective Structured Clinical Examination)を用いた教育実践能力の評価」

⑨ 春名 麻季 講師

「親子・個人・基本権の複合的研究」

⑩ 杉森 公一 助教

「同位体効果による磁気的分子物性変化の理論的研究」



科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成制度です。平成23年度の採択・交付者は左記の通りです。

① 木谷 尚美 准教授

「健康高齢者を対象とした認知症準備教育『認知症マイプランの作成』の実践と評価」

② 川邊 弘之 教授

「聴覚障害学生のための聴講支援システム―『質より量』のアプローチによる音声認識―」

③ 野口 雅弘 講師

「物理的刺激の血管内皮機能への影響と生活習慣による影響の違いについての実験研究」

④ 永井 将太 准教授

「回復期脳卒中患者のADL訓練用クリニカルパスの作成とその効果検証に関する研究」

⑤ 永原 朗子 教授

「批判的リテラシーを育む福祉科教育における問題解決学習プログラムの開発」

⑥ 春名 麻季 講師

「個人の尊厳原理のもとでの家族・親子関係の法的課題に関する多面的考察」

⑦ 元村 智明 講師

「戦前石川県下の公共性の論議形成と共同性確保に関する研究―経済保護事業を中心に―」

⑧ 瀬戸 就一 教授 (短大部)

「聴覚障害学生に教員の熱意を伝える感情フロントシステムの開発」

⑨ 新井 浩 准教授 (短大部)

「大学教員の教授力向上のための自己訓練システム」

「戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)採択」

独立行政法人 科学技術振興機構(JST)の「戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)」実装支援プロジェクトに、社会福祉学部下村有子教授の「視覚障害者自立支援めがねの社会実装」が採択されました。これは、視野狭窄、半盲、暗点などの視野障害がある方に、視野を拡張するめがねを使用してもらうことで、日常生活の自立を支援しようとするものです。研究開発期間は平成23年10月から平成26年9月までの3年間です。

「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム状況報告



平成21年度に採択された「早期に『社会力』基盤を確立するキャリア教育」取組は、3年目(最終年度)となる今年度も引き続き、就職・各種資格支援等、在学生のキャリア教育・支援体制を強化し、「社会力」向上を目指しています。

第6回

福祉創造 フォーラム

福祉におけるこころのケア

平成23年 **11月20日(日)** 10:00~15:30

金城大学 社会福祉学部棟(S棟)大講義室ほか

スケジュール

9:00~10:00 受付
10:00~10:30 開式
10:30~12:00 講演※
12:00~13:30 休憩
13:30~15:30 分科会

※同時手話通訳があります。

講演

■講演 **こころのケア：人間関係の持つ力**

■講演者 **倉知 正佳氏**

■会場 **S棟 110大講義室**

※同時手話通訳があります。

略歴

1982年 東京都立総合医療センター 精神科医
1999~1981年 1999~1981年 東京都立総合医療センター 精神科医
1986年 東京都立総合医療センター 精神科医
2005~2008年 東京都立総合医療センター 精神科医
2006~2010年 東京都立総合医療センター 精神科医
2007年 東京都立総合医療センター 精神科医
2010年 東京都立総合医療センター 精神科医

「こころ」とは何でしょうか。日本医大精神科(講義)を聴くと、「人間の感情・感情・意識などの機能のことではないもの。自分の考え、気持ちなども含まれる。ある行動に対するつもり、信じ、思いやり、ことばなどの言葉の意味。」と説明を受けています。そして、「こころ」には、「10分刻みである。指針」で述べられているように、社会性、思いやりがある。さあともある。と述べられています。このように日本医大の「こころ」には、個人としての精神の働きだけではなく、人間関係を含んでいます。この日は、世界保健機関WHOの最新報告の中核委員が以前に加盟していただきました。この講演では、こころを念頭に置きながら、人間関係の持つ力、うつ病の自助支援、事例報告として、人間とは個人を越えるものが働いていることについて、お話ししたいと思います。

分科会：I 社会福祉 会場/S棟106中講義室

福祉現場におけるこころのケア ～当事者支援を考える～

■パネラー **東 裕紀氏** 社会福祉法人親善会の代表者 社会福祉士
平内 明美氏 社会福祉法人 社会福祉士
深山 絵里氏 社会福祉法人 社会福祉士
藤田 大友 順治 社会福祉学部 教授

分科会：II 医療健康 会場/H棟206中講義室

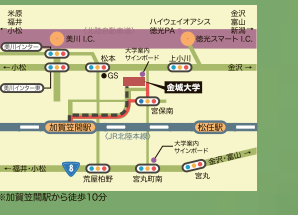
地域に貢献できる理学療法士の育成を目指して ～大学教育に求められるもの～

■パネラー **片田 圭一氏** 理学療法士
河合 直人氏 理学療法士
伊藤 功希氏 理学療法士
木林 勉氏 理学療法士
藤田 神谷 晃央 理学療法士

分科会：III 保育者養成 会場/H棟207中講義室

ケアを必要とする子どもへの保育

■シンポジスト **宝島 静香氏** 保育士
石谷 恵子氏 保育士
橋爪 ゆかり氏 保育士
富樫 立子氏 保育士
【司会】コーディネーター 大沼 直樹 社会福祉学部 教授



定員 先着200名 平成23年11月14日(月) 17:00必着 (※講演)

申込先 **フォーラム実行委員会事務局**
〒924-8511 石川県白山市笠間町1200番地(金城大学内) TEL 076-276-4400(代) FAX 076-275-4316
E-mail: forum@kinjo.ac.jp http://www.kinjo.ac.jp/

主催/金城大学、金城大学後援会、北國新聞社
主幹/石川県、白山市、白山市教育委員会、社会福祉法人石川県社会福祉協議会、石川県社会福祉士会、石川県介護福祉士会、石川県法医学士会、石川県医師会、石川県歯科医師会、金沢市医師会、石川県薬剤師会、石川県農畜士会、石川県看護協会

※撮影について/本フォーラムでは、記録用に写真撮影等を行いますのでご了承くださいませようお願いいたします。



金城大学の建学理念等

<p>建学理念</p> <p>明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在の養成</p> <p>目的及び使命</p> <p>教育基本法および学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を養い、文化の向上および社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。(学則第1条)</p>	<p>教育理念</p> <p>教育とは、教員と学生との全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への良い影響である。学生とともに毎日学内で過ごす生活そのものが教育である。</p> <p>教育目的</p> <p>社会福祉、保育及び幼児教育、または医療及び健康を担う総合力と旺盛な意欲、職場の即戦力につながる社会人の基礎、そして社会で幅広く活躍する積極性を身につけ、福祉の心を持ったエキスパートとして卒業生を社会に輩出する。</p>
--	---

同窓会会員の皆様へ

この度、同窓会会報誌を発刊、発送させていただきますので、ご一読いただければ幸いです。

なお、住所や氏名が変更になった方は、同窓会事務局(※下記参照)までご連絡くださいますようお願いいたします。ご連絡いただきました個人情報につきましては、同窓会関係の事務のみに使用させていただきます。

今後とも、同窓会の活動に、ますますのご理解・ご協力・ご協力の程、よろしくお願いたします。

大学案内・募集要項

<http://telemail.jp>
テレメール/資料請求受付(24時間)
●音声ガイダンスに従って資料番号を入力してください。
IP電話 050-8601-0101
●資料請求番号 160793 (2日で資料が届きます。)
※お急ぎの場合は、本学へ直接ご連絡ください。